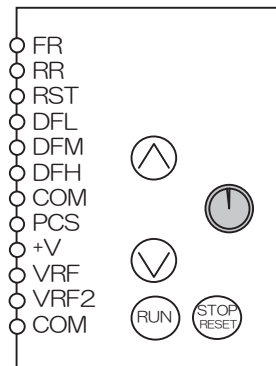


## 7. 応用運転したいとき

### 7. 1 運転周波数の設定方法

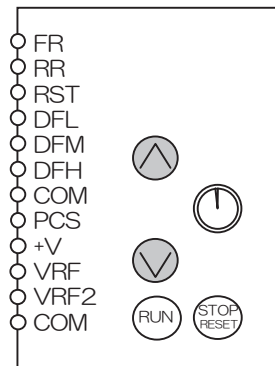
インバータの周波数設定を選択することにより応用運転ができます。この場合基本パラメータの周波数設定モード選択1 ( $F A 0 d$ )、拡張パラメータの周波数優先選択 ( $F 2 0 0$ )、および周波数設定モード選択2 ( $F 2 0 7$ ) にて設定してください。

(1) 内蔵ボリューム設定



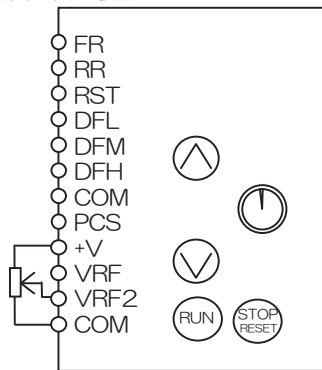
$F A 0 d : 0$   
 $F 2 0 0 : 0$

(2) パネルキー設定



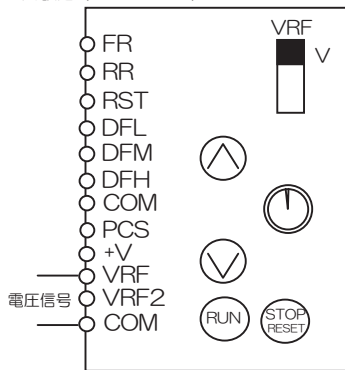
$F A 0 d : 3$   
 $F 2 0 0 : 0$   
パネルキーにて設定  
STRで記憶(書込み)

(3) 外部ボリューム設定



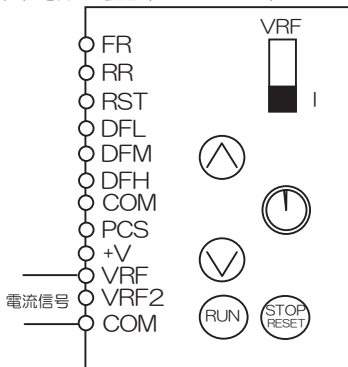
$F A 0 d : 2$   
 $F 2 0 0 : 0$   
 $F 2 1 0 \sim F 2 1 3$ で調整

(4) 電圧入力設定 (0~1.0Vdc)



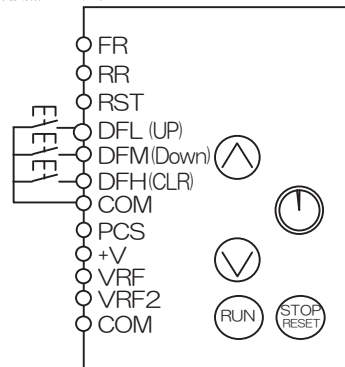
$F A 0 d : 1$   
 $F 2 0 0 : 0$   
 $F 2 0 1 \sim F 2 0 4$ で調整  
 (VRF2 使用時は $F A 0 d = 2$ )

(5) 電流入力設定 (4~2.0mA dc)



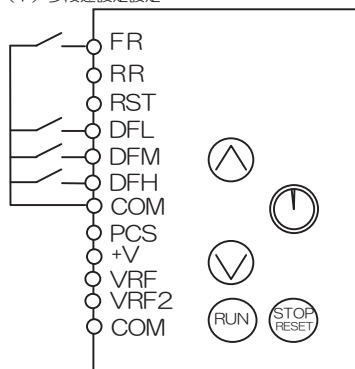
$F A 0 d : 1$   
 $F 2 0 0 : 0$   
 $F 2 0 1 \sim F 2 0 4$ で調整  
 ( $F 2 0 1 : 2.0\%$ )

(6) 外部接点アッパ・タウ



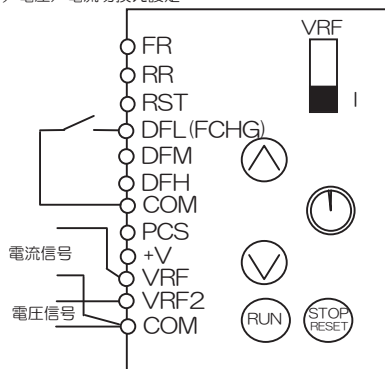
$F A 0 d : 5$ 、 $F 2 0 0 : 0$   
 $F 2 6 4 \sim F 2 6 8$ で調整  
 $F 2 6 9 : 1$  (電源OFF時に $F 2 6 8$ を書換える)  
 $F 1 1 4 : 4 1$  (UPの割付け)  
 $F 1 1 5 : 4 2$  (DOWNの割付け)  
 $F 1 1 6 : 4 3$  (CLRの割付け)

(7) 多段速設定設定



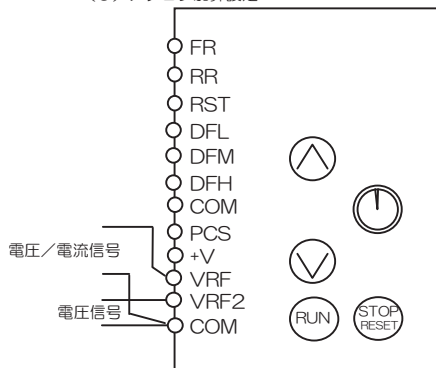
*F200*: 0 (端子台)  
*Sr 1*~*Sr 7*: 1~7 段速  
*F287*~*F294*: 8~15 段速  
 端子 DFL~DFH で7 段速選択  
 入力端子機能 DFHH 割付けで15 段速選択

(8) 電圧/電流切換え設定



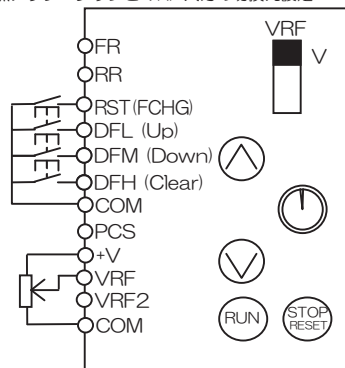
*F200*: 1 (自動切換)  
*F200*: 0 (FCHGの強制切換え)  
*F114*: 38 (FCHGの割付け)  
*F207*: 2  
*F207*: 1

(9) アナログ加算設定



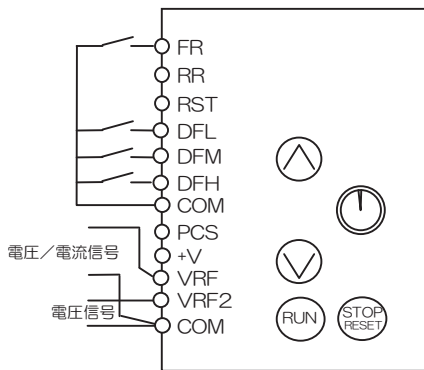
*F200*: 6 (VRF+VRF2)  
*F200*: 0

(10) 外部接点アップ・ダウンとVRF 入力との切換え設定



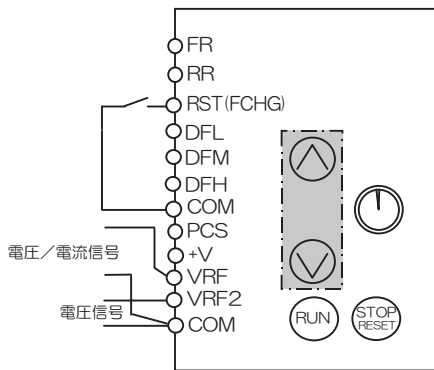
*F200*: 5、*F200*: 0、*F207*: 1  
*F113*: 38 (FCHGの割付け)  
 FCHG 入力で VRF 設定に切換え  
*F114*: 41 (UPの割付け)  
*F115*: 42 (DOWNの割付け)  
*F116*: 43 (CLRの割付け)

(11) アナログと多段速の切換え設定



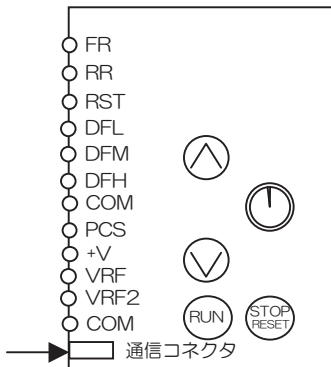
*F*00d : 1 (VRF) または 2 (VRF2)  
*C*00d : 0 (端子台)  
*F*200 : 0  
 外部 DFL~ DFH 入力で 多段速設定に切換え

(12) パネルからアナログ/端子の切換え設定



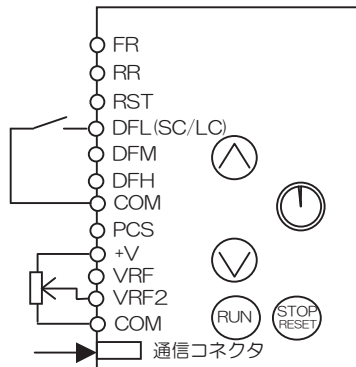
*F*00d : 3 (パネル)  
*F*113 : 38 (FCHG の割付け)  
 外部 FCHG 入力で *F*207 設定に切換え  
*F*200 : 0  
*F*207 : 1 (VRF) または 2 (VRF2)

(13) 通信による設定



通信コマンド fa00h 14bit : 1  
 通信優先  
 (*F*00d : 4)

(14) 通信からローカルの切換え設定

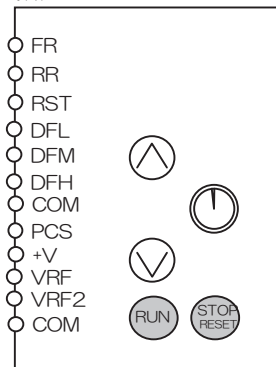


通信コマンド fa00h 14bit : 1  
*F*114 : 48 (SC/LC の割付け)  
 通信運転中に外部 SC/LC 入力でローカルに切  
 換え  
*F*00d、*F*200 または *F*207 の設定により動作

## 7.2 運転の設定方法

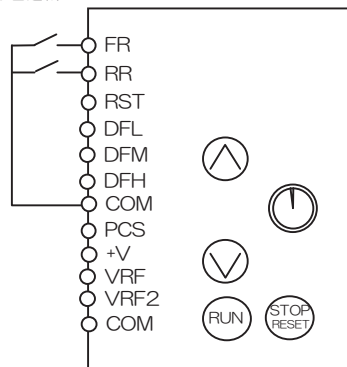
インバータの運転を選択することにより応用運転ができます。この場合基本パラメータのコマンドモード選択 [A0d]、入力端子選択にて設定してください。

(1) パネル操作



[A0d] : 1 (パネル)

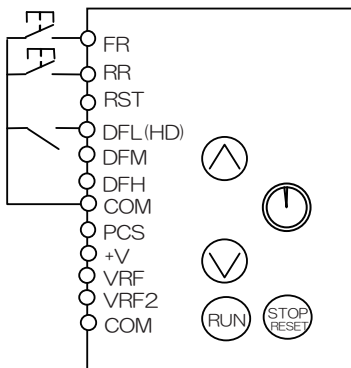
(2) 端子台運転



[A0d] : 0 (端子台)

(3) 3ワイヤ運転 (ワン・プッシュ運転)

ON/OFF の押しボタンだけで運転可能です。



注1) 3ワイヤ運転時は  $F110=1$  (ST),  $EN0=0$  (端子台) に設定して下さい。

また、入力端子選択で、いずれかの入力端子にHD (運転保持) を割り付けてください。例えば、左図のようにS1端子に割り付ける場合は、 $F114=49$  (運転保持) に設定して下さい。

注2) 電源を入れる前に、各端子をONしている場合、電源ON時には、端子入力は無視されます。(突然動き出すと危険なため。) 電源ON後に改めて、端子入力をONして下さい。

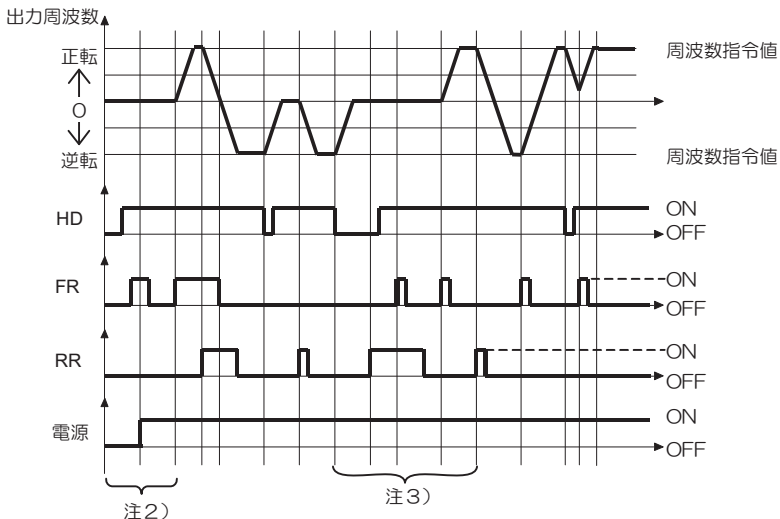
注3) HDがOFF時に、FRまたはRRをONしても、無視されます。RRがON時にHDをONしても運転しません。その状態のまま、さらに、FRをONしても運転しません。一旦、FRおよびRRをOFFしてから、FRまたはRRをONして下さい。

注4) 3ワイヤ運転中に、 $\gamma$  オフセットの指令をすると停止します。

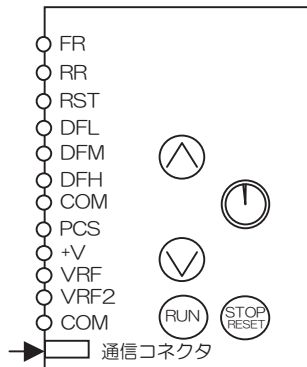
注5) 直流制動中に起動信号を入力しても、直流制動を継続しますので、ご注意ください。

入力端子選択でHD (運転保持) を選択

HD : ONでワン・プッシュ運転可能、OFFで停止

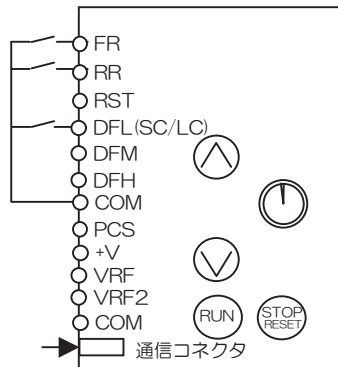


(4) 通信で運転



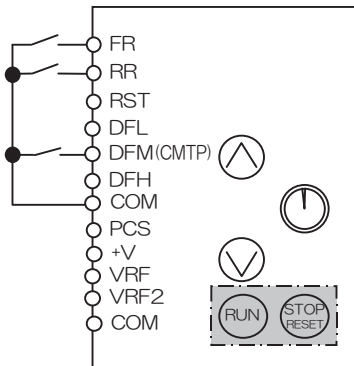
通信コマンド fa00h 15bit : 1  
設定により通信優先

(5) 通信から端子台への切換え運転



END : 0 (端子台)  
F114 : 48 (SC/LCの割付け)  
通信コマンド fa00h 15bit : 1  
設定にて通信運転中に外部 SC /  
LC 入力でローカルに強制切換  
端子台により動作

(6) パネル操作から端子台への切換え運転



END : 1  
F115 : 50 (CMTPの割付け)  
外部 CMTP 入力で端子台からの運転に切換え